

## 復活の異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

貸与奨学金及び2020年度以降の給付奨学金(新制度)の「異動願(届)」は様式が異なります。別途作成してください。※2017年度採用者(「社会的養護を必要とする人」として採用された者を除く)が復学に際して「自宅通学」となる場合は「辞退」の手続きを行ってください。

<input type="checkbox"/> 誓約書の機構送付(学校記入項目。送付済の場合は☑。誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)										届出年月日	20	年	月	日
学校名					学籍番号					生年月日	西暦 年 月 日			
学部・学科 (課程・研究科)					フリガナ					学年		年		
奨学生番号					氏名 (自署)					(奨学生の自署が必要)				

以下、該当する復活の種類を☑で選択。太枠は必須。 ※休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)からの復活】		
学校	休学日	20	年 月 日
	復学日	20	年 月 日
	卒業期	20	年 月 (見込)

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(留学)からの復活】		
奨学生	復活希望年月※	20	年 月
学校	以下の【留学情報】を記入	卒業期 20 年 月 (見込)	

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)からの復活】		
学校	復活年月	20	年 月 (見込)
	卒業期	20	年 月 (見込)

【留学情報】 学校記入欄。該当するものを☑で選択する。			
国名			
留学時の身分※1	<input type="checkbox"/> 休学	<input type="checkbox"/> 留学	<input type="checkbox"/> 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)		
国費情報(ある場合のみ)※3	<input type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 年 月 ~ 20 年 月		
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	

記入者	<input type="checkbox"/> 【休止(長期履修学生の給付先送り)からの復活】		
学校	復活年月	20	年 月 (見込)
	卒業期	20	年 月 (見込)

※1 通常はいずれか1つに☑を付ける。留学中に複数の身分が存在する場合は☑を付けず、☐内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。  
 ※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で☑を付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に☑でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。  
 ※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

### 以下学校記入欄

対象奨学生が「社会的養護を必要とする人」として採用された者であれば1. を、そうでなければ2. をチェックしてください。

1.  「社会的養護を必要とする人」として採用された者

2.  「社会的養護を必要とする人」として採用された者ではない

「休止」又は「休止(留学)」等により1年に1度の適格認定の対象外となった場合は、復活に際し、対象外となった年度の生計維持者の経済状況の報告が必要となります。生計維持者の市区町村民税(非)課税証明書を提出させ、「経済状況について」(給付様式33)に必要事項を記入のうえ、本願(届)に添付して提出してください。生計維持者の経済状況によっては復活できないことがあります。

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長(※) 教育・学生支援部学生・キャリア支援課長 山口淳志

※ 証明者は課長相当職以上の方としてください。

### 連絡事項記入欄

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
06 - 6850 - 5037	106005	01

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務及び奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

### (機構使用欄)

最終振込年月	20 年 月	振込超過	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	20 年 月 ~ 20 年 月	要返戻金額	円
--------	--------	------	---	-----------------	-------	---

提出先 異動・補導係	郵送の要否 必要	スカラAC入力 入力不可
---------------	-------------	-----------------

## 「復活の異動願(届)」の記入例

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)からの復活】	
学校	休学日	20 22 年 10 月 1 日
	復学日	20 23 年 10 月 1 日
	卒業期	20 25 年 3 月 (見込)

- 休止からの復活の注意点
  - ・奨学生本人の自署が必要。
  - ・復活の異動始期は、復学日の翌月(月の初日はその月)。

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)からの復活】	
学校	復活年月	20 24 年 1 月 (見込)
	卒業期	20 25 年 3 月 (見込)

- 休止(長期欠席)からの復活の注意点
  - ・復活年月は学校が把握する通学再開の時期。奨学生本人の選択ではない。例えば、1月から通学を再開した奨学生が長期欠席中の11月からの振込再開を希望しても認められない。
  - ・卒業期が長期欠席前と比べて延期している場合は「復活」不可。成績を理由とした「廃止」又は「停止」の認定報告が必要。

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期履修学生の給付先送り)からの復活】	
学校	復活年月	20 24 年 1 月 (見込)
	卒業期	20 24 年 3 月 (見込)

- 休止(長期履修学生の給付先送り)からの復活の注意点
  - ・奨学生本人の自署が必要。
  - ・「休止」時点から卒業期が伸びていないことを確認。

### 以下、学校記入欄

対象奨学生が「社会的養護を必要とする人」として採用された者であれば1.を、そうでなければ2.をチェックしてください。

- 「社会的養護を必要とする人」として採用された者
- 「社会的養護を必要とする人」として採用された者ではない

「休止」又は「休止(留学)」等により1年に1度の適格認定の対象外となった場合は、復活に際し、対象外となった年度の生計維持者の経済状況の報告が必要となります。生計維持者の市区町村民税(非)課税証明書を提出させ、「経済状況について」(給付様式33)に必要事項を記入のうえ、本願(届)に添付して提出してください。生計維持者の経済状況によっては復活できないことがあります。

- 経済状況欄の注意点
  - ・必ずいずれかにチェックが必要。
  - ・2. にチェックをした場合は「経済状況について」(給付様式33)により生計維持者の経済状況の報告が必要ながある。
  - ※市区町村民税(非)課税証明書は学校で保管してください。

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(留学)からの復活】	
奨学生	復活希望年月※	※海外留学支援制度(2018年度以前採用者)及び官民協働海外留学支援制度の受給者、学籍上の身分が在学、留学の者が遡及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。
学校	以下の【留学情報】を記入	卒業期 20 25 年 3 月 (見込)

【留学情報】 学校記入欄。該当するものをで選択する。

国名	アメリカ合衆国		
留学時の身分※1	<input checked="" type="checkbox"/> 休学	<input type="checkbox"/> 留学	<input type="checkbox"/> 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 22 年 10 月 1 日 ~ 20 23 年 9 月 30 日 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)		
国費情報(ある場合のみ)※3	<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 22 年 10 月 ~ 20 23 年 9 月		
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	

※1 通常はいずれか1つにを付ける。留学中に複数の身分が存在する場合はを付けず、内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。

※2 通常は1.に「留学時の身分」欄でを付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄にでなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

### ● 休止(留学)からの復活の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・「復活」可能な時期は「留学終期の翌日の属する月の翌月(月の初日はその月)」。
- ・休止時に振込超過がある場合は、返戻が必要。
- ・2018年度以前給付奨学金採用者で、3か月未満の留学の場合、又は海外留学支援制度、官民協働海外留学支援制度の支給を受ける期間は「休止(留学)」処理不要。ただし、奨学生本人の希望により「休止(留学)」とすることも可能。
- ・2019年度以降給付奨学金採用者で、海外留学支援制度の支給を受ける期間は「休止(留学)」処理必要。

- ・【留学情報】欄は学校でもれなく記入。
- ・海外留学支援制度又は官民協働海外留学支援制度の支給を受ける場合は、「国費情報」欄の該当する経費にを付け、受給期間を記入。

### (例: 複数の身分が存在する場合の書き方)

【留学情報】 学校記入欄。該当するものを <input checked="" type="checkbox"/> で選択する。			
国名	アメリカ合衆国		
留学時の身分※1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 休学	<input type="checkbox"/> 留学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 23 年 8 月 15 日 ~ 20 23 年 9 月 30 日 (2. 20 23 年 10 月 1 日 ~ 20 23 年 9 月 30 日)		

↑休学前に在学の身分で渡航し、学校がそれを留学と認めて「休止(留学)」とする場合はこのように記入する(「休止(留学)」の異動始期は2023年9月)。一方、留学が休学後に始まる場合は身分「休学」をで選択し、「上記で選択した身分の期間」欄の1に休学期間のみを記入する(上図に同じ。「休止(留学)」の異動始期は2023年10月)。